



つうしん ナミビア通信

JICA 青年海外協力隊
2023 年度 I 次隊
エロンゴサ小学校
吉野 葵
2024 年 3 月 第 4 号

ひらやましょうがっこう
平山小学校のみなさんこんにちは。ナミビアの小学校で先生をしている吉野です。

ぜんかい
前回のナミビア通信では、ナミビアの首都であるウイントフックについて紹介しました。私は、そのウイントフックから車で 2 時間半ほどの「ウサコス(Usakos)」という小さな町に住んでいて、その町の小学校で働いています。今日は、そのウサコスという町について紹介していきたいと思ひます。

ウサコスってどんな町？

①どこにあるの？どのくらいの人が住んでいるの？

ウサコスは首都から西へ 220km (車で約 2 時間半) ほど離れた、人口 3500 人ほどの小さな町です。



しらべてみると、千葉県で人口が最も多いのは千葉市で 95 万 9415 人、最も少ないのは神埼町で 6674 人だそうです。ウサコスは 3500 人なので、この最も少ない神埼町の約半分。そう考えるととても小さな町だということがわかりますね。

(参考：千葉県ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp>)

②どんな気候？

私が住んでいる町ウサコスは、ナミビアの中でも特に暑い地域だと言われています。理由はこの町が山に囲まれているからです。山に囲まれていると、涼しい空気が入ってこないため、気温が下がらずに暑くなります。寒い時期はまだ経験していませんが、山に囲まれた地域は冷気がたまるため、とても寒いそうです。



↑私の家の近所からのながめ



↑学校の前の空き地からのながめ

町を囲んでいる山の様子です。この美しい景色は、私のウサコスの好きな所のひとつです。ウサコスは世界一長い地平線が見える町とも言われています。夕焼けも最高にきれいです。

ナミビアには、11~4 月頃が雨季 (気温が高い季節) と 5~10 月頃の乾季 (気温が低い季節) という 2 つの季節があります。雨季といっても雨はあまり降らず洗濯物がすぐ乾くくらい乾燥しています。

③ 昔は栄えていた！？

ウサコスは、「昔は栄えていた」と多くの人言います。鉱物資源が豊富なナミビアにとって重要な、鉱物資源を運ぶ鉄道の給水所や作業所として大きな駅が建てられ、それを中心に栄えていたそうです。

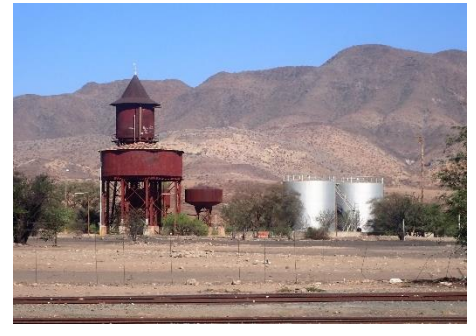
しかし、ナミビア独立の1990年以降、少しずつその重要性がなくなっていき、駅が閉鎖し町も衰退していきました。今では、栄えていた時代に作られた建物が古くなってこわれたり、使われなくなったまま残っていたりして、住民が言うように「昔は栄えていた」ということが確かに感じられます。



↑閉鎖したウサコス駅



↑使われていない鉄道



↑古い給水塔



↑水の出ない噴水（公園内）



↑こわれたスイミングプール



↑客席がこわれた運動場

④ウサコスという名前の由来は？

ウサコスという名前は「コエコエ語」という現地語で「かかとをつかむ」という意味です。動物に水を飲ませている時に動物が水に落ち、「ウサコス」と言っている動物のかかとつかんだことからこの名前がついたという説や、粘り気のある土にかかとをつかまれることからこの名前がついたという説など諸説あります。（参考：Usakos History weebly.com）



スーパーやレストランなどもありますが、今回は紹介しきれなかったので、町の様子については次回紹介します！

ナミビア通信しつもんフォーム

このナミビア通信を通して、みなさんが新たに何かに興味をもってくれたらいいなという思いから、質問フォームを作ってみました！気になったことはそのままにせず、自分で調べたり、質問したりして解決してみてください！
(ギガタブで右のQRコードを読み取ると質問ができます。)

ホームページ上では公開を控えさせていただきます。